

戦争反対 風船放つ



風船を大空に放つ参加者 6日、大津市

平和願ひ法要

滋賀・三井寺

広島原爆投下から70年を迎えた6日、滋賀県大津市の三井寺にみいでら(天台寺門宗総本山園城寺)おんじょうじ、福家(ふけ)英明長吏(ちようり)観音堂(くわんおんどう)原爆犠牲者慰霊・世界平和祈願法要(ほつがい)が行われました。僧侶(そうりょ)や市民(しみん)ら120人が原爆投下時刻(げんばくとうげ)の午前8時15分(げん)から1分間の黙とう(もくとう)をした後、

「戦争する国(こころ)ゆるさない!!」など(な)書いた短冊(たんぱふ)を付けた、1800個(ご)の風船(ふうせん)を大空(おほぞら)に放ちました。

福家長吏(ふけ)は、終戦(しゅうせん)で軍隊(いくさ)が瓦解(わかい)した様子(ようす)を自らの体験(たいけん)で語り、

「若い人(わかいらい)が『戦争反対(せんそうはんたい)』と言うと、『自分が戦争(せんそう)に行きたくないから言(い)っているのだ』と、おっしゃる方もいますが、そういう考え(かぎ)ではなく、憲法(けんぽう)9条(く)で平和(へいわ)を守(まも)っていかねれば」と訴(う)えました。

遊心庵(ゆうしんあん)の岡部善恵庵主(おかべぜんゑ)は、「自由(じゆう)と平和(へいわ)のための京大有志(けいだい)の会(かい)の声明書(せいめいしょ)を読み上げ、

「どうか、平和(へいわ)、憲法(けんぽう)9条(く)に無関心(むかんしん)でありませんように」と語りかけました。

日本共産党(にっぽんこさんとう)の節木三千代(ふせぎ)副委員長(ふくぎやう)長(ちやう) (県議(けんぎ))が参加(さんか)しました。